

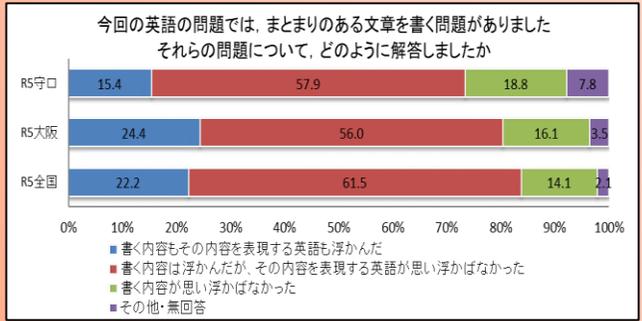
自学自習力(学習・読書習慣)の育成について ～全国学力・学習状況調査の結果を受けて～

令和5年度全国学力・学習状況調査結果

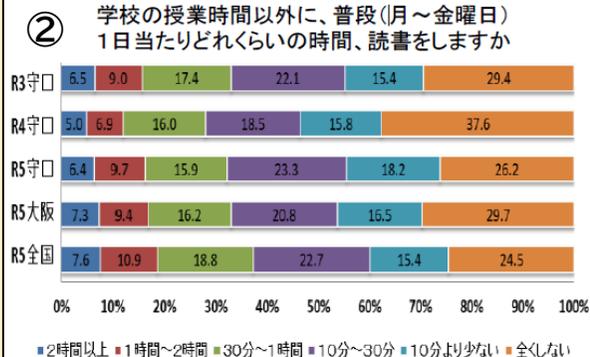
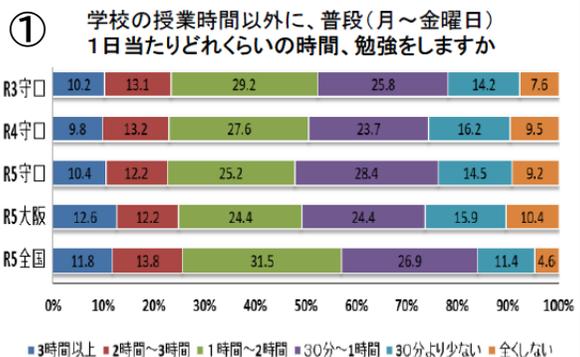
		国語			算数・数学			英語		
		平均正答数	中央値	標準偏差	平均正答数	中央値	標準偏差	平均正答数	中央値	標準偏差
小学校	守口市	8.7/14	9.0	3.1	9.6/16	10.0	4.0			
	大阪府	9.2/14	10.0	3.0	9.9/16	10.0	3.8			
	全国	9.4/14	10.0	2.9	10.0/16	11.0	3.8			
中学校	守口市	9.9/15	11.0	3.5	7.0/15	7.0	3.9	6.8/17	6.0	4.0
	大阪府	10.2/15	11.0	3.6	7.5/15	7.0	4.0	7.7/17	7.0	4.3
	全国	10.5/15	11.0	3.4	7.6/15	8.0	3.9	7.7/17	7.0	4.2

【結果の概要】

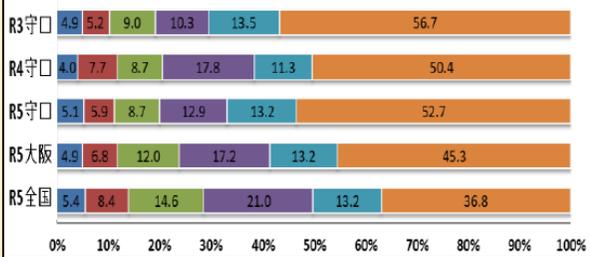
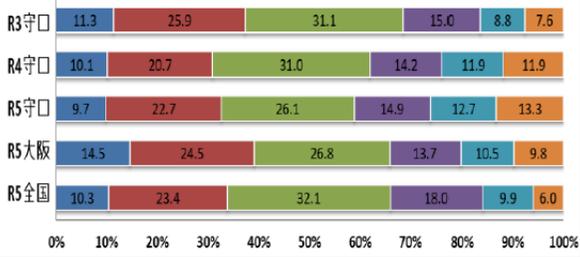
- 子どもたちの学力はおおむね定着。(全国平均の正答数との差は1問未満)
- 全ての教科で、問題文の内容を適切に読み取ることができず、正答に必要な条件を満たして答えることに課題が見られた。
- 英語について、書く意欲があるが、適切に表現ができず、また、何を書いているかわからずに書けなかった生徒が多くいた。



小学校



中学校



① 勉強時間は、小学校は増加したが、中学校は減少。小学校で身につけた学習習慣を中学校で維持できるような取組みが必要。(小:30分以上 中:1時間以上)

② 「全く読まない」割合が中学校では増加。読書で得られる情報や経験、心の動きなどを実感させ、自ら「読みたい」と思わせるような読書推進の取組みが必要。

自学自習力(学習)の育成について ~土曜日学習事業の充実~

【土曜日学習事業の概要】

- 目的:基礎学力の定着および家庭での学習習慣の定着を図る

〔令和5年度の実施状況〕

- 回数:小学校 年間20回 中学校 年間45回
- 教科:国語、算数・数学
- 対象:小学校5, 6年生、中学校1~3年生
- R5参加者数:小学校238人 中学校199人
- 実施体制
 - 最大3名の児童生徒で編成するグループごとに学習指導員を1名配置
- 成果
 - 学習意欲の向上
 - 基礎学力の向上(偏差値50以上中1以外)

参加児童生徒数の推移(人)

	R1	R2	R3	R4	R5
小5	132	167	156	114	133
小6	110	115	130	142	105
中1			65	79	75
中2			38	50	74
中3			49	42	50
小計	242	282	286	256	238
中計			152	171	199

生徒・保護者アンケート

生徒より	保護者より
<ul style="list-style-type: none"> 英語を入れてほしい ほかの苦手な教科もできるようになりたい わかるようになってうれしい 	<ul style="list-style-type: none"> 英語も実施してほしい 国数英の復習をしてもらえたらうれしい 年度途中からの参加も認めてほしい



小・中学校での活動の様子



【現在の取組み】

自学自習力の育成について

- 教員や地域ボランティアによる放課後学習
- 教科や学年間の連携による家庭学習課題等の工夫
- 学習用タブレット端末によるオンライン学習
- 民間活力を活用した土曜日学習事業

学力向上推進教員会議で協議し、自校の取組みに反映

英語について

- AETを活用したコミュニケーション活動の充実
- デジタル教科書の活用による言語活動の充実
- 「英検IBA」による児童生徒の英語力の分析
- 小学校を中心としたカリキュラム開発・教職員研修
- 中学校で学習用タブレット端末用ドリル教材の導入

- 土曜日学習事業では、**中学校の参加人数が増加傾向**にあり、年度途中からの参加についての問い合わせもあった
- 生徒と保護者から、**英語についても実施してほしい**というニーズがある
- 英語については、**授業でコミュニケーション活動を充実しつつ、必要な知識・技能を、授業と家庭学習等を関連させながら高めていく必要がある**
 [参考]令和5年度全国学力・学習状況調査において、英語「知識・技能」の問題の正答率は、国と比較し-6.9p (市:44.6%、国:51.5%)

【今後の方向性(検討事項)】

- 土曜日学習事業について、**中学校の募集人数を拡充**
- 土曜日学習事業について、中学校の教科に**英語を導入**(英・数・国から2教科を選択)
- 小・中学校のつながりをふまえ、目的・場面・状況を意識した授業改善を中心に**教職員研修を充実**

自学自習力(読書習慣)の育成について ～学校図書館の環境整備～

(主な取組み)

- 学校司書の配置 (平成25年～) 中学校区に1名
 - 学校図書館システムの導入 (令和5年度～) 全校
 - 研修会・協議会の開催
- 学校図書館担当教員や学校司書の取組みの共有
市立図書館と連携した取組みの推進

大阪府研究指定校

- 読書推進活動や授業での利活用について研究・発信
- ・R5: 金田小(学校図書館を充実・活用するためのモデル校)
 - ・R1: 第一中(学校図書館を充実・活用するためのモデル校)
 - ・R1～R3: 寺方南小(学校司書加配校)



(今後の工夫のポイント)

- 学校図書館内の内装・レイアウト・掲示
- 学校図書館以外にも図書を配架

(課題)

- 小・中学校ともに、読書習慣が定着していない
- 特に中学校での読書時間が極めて短い
- 「全く読まない」割合が中学校で増加している
- 学校図書館等を授業以外で利用する割合 (月1回以上) **小学校:26.5%、中学校:13.3%**
- 授業以外での利用者の割合 (1日あたり) **小学校:10%前後、中学校:4%程度**

(考えられる要因)

- 昼休みや放課後にしか開館していない学校が多い (常時開放は4校)
- 児童生徒の身近な場所に、触れることができる図書が少ない

児童生徒にとって、魅力ある学校図書館とは？



工夫の一例 (有識者によるアドバイスのもと、内装・レイアウトを整備 広島県福山市の取組み)



温かみのあるラグ・ソファ ぬいぐるみ



図書が目立つ白い書架



落ち着ける机・椅子のレイアウト

【今後の方向性(検討事項)】

居心地がよく、いつでも気軽に利用したくなる、魅力ある学校図書館へ